



2025年2月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ビ ー グ リ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉 田 仁 平
(コード番号：3981 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 長 三 吉 達 治
(TEL. 03-6706-4153)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状分析と課題認識を行い、今後の方向性について決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

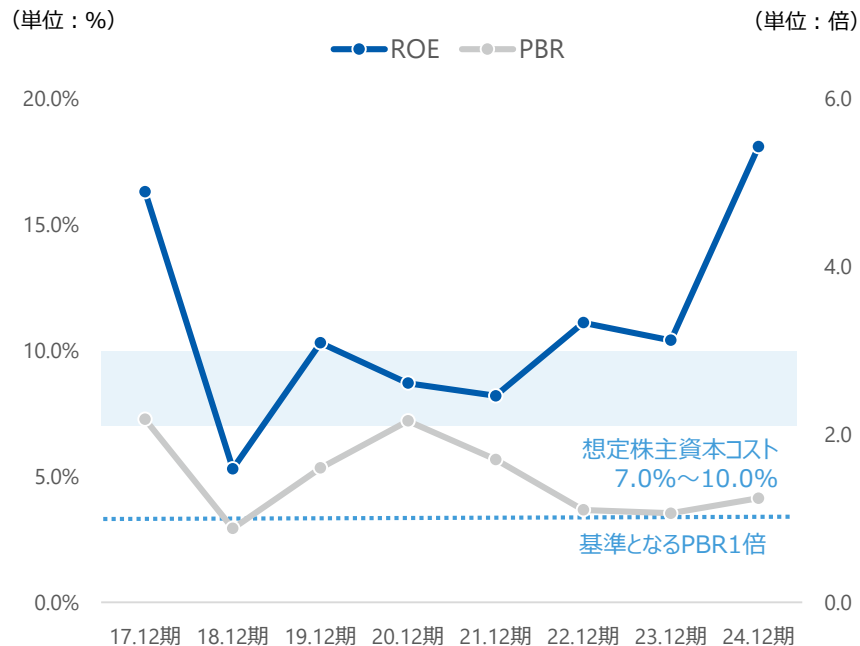
2025年2月14日(金)

株式会社ビーグリー (Beagle Inc.)

東証スタンダード : 3981

- 当社の株主資本コストは7.0%～10.0%程度と認識。現状のROEは株主資本コストを上回って推移
- PBRは概ね1倍以上を維持していたものの、高かった頃に比べると近年は基準となる1倍近くまで低下

上場来のROE及びPBRの推移



注：PBRは各年度末の終値を基準に算出

注：2024年12月期のROEは、税務上の繰越欠損金の活用による法人税等の減少の一時的な増益要因を含む

株主資本コスト

CAPMに基づく株主資本コスト

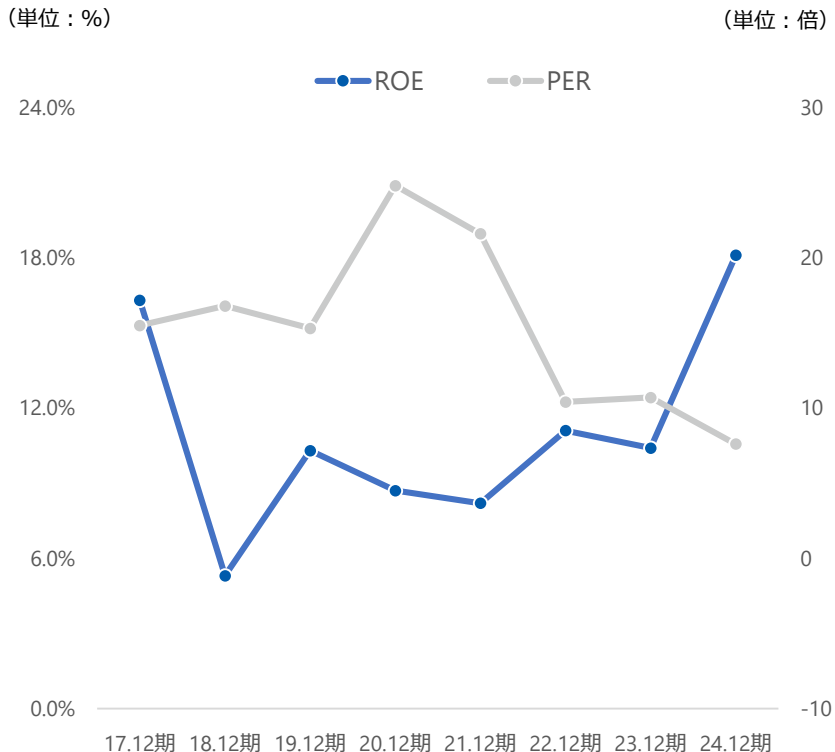
下記計算式を元にした当社試算 **7.0～8.0%**

$$\text{リスクフリーレート} + \beta (\text{ベータ}) \times \text{市場リスクプレミアム} + \text{個別リスクプレミアム} = \text{株主資本コスト}$$

株式益利回りに基づく株主資本コスト

成長率を0%としたEPSに対する同年の平均PERの逆数による
当社試算 **8.0～10.0%**

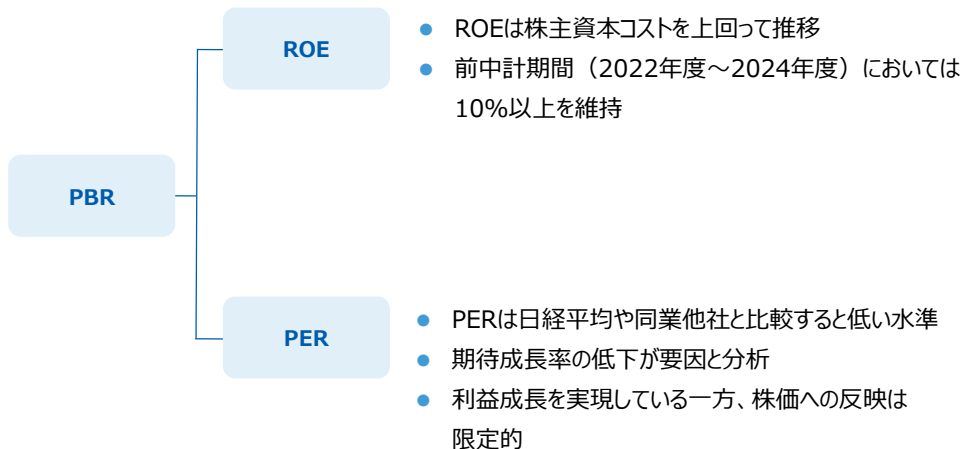
ROE・PERの推移



注：PBR及びPERは各年度末の終値を基準に算出

PBRの現状評価

PBR低下の主要因はPERの低下にあり、期待成長率の低下が大きく影響していると分析



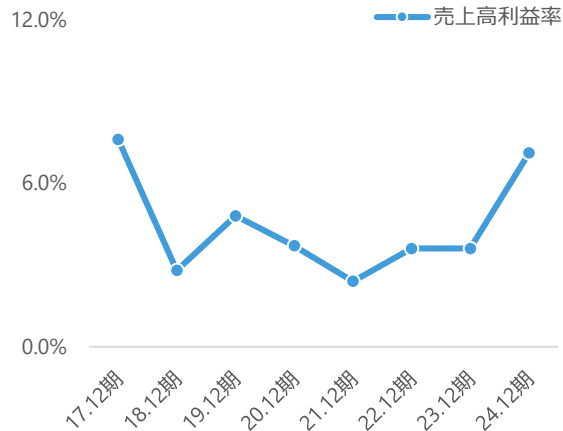
収益性の向上と資本構成の最適化を進め、PBRの向上を図る

- 売上高利益率は特損の有無等で大きく上下、のれん償却が大きい事から絶対値は小さい
- 非事業資産（政策保有株等）は保有していないが、のれんの額が多いため、総資産回転率は1回に留まる
- 財務レバレッジは借入金返済が進み低下（改善）傾向
- 2024年12月期のROEは18.1%

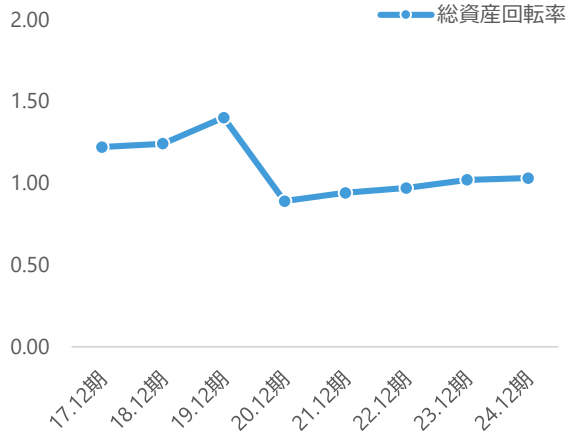
$$\text{ROE} = \text{収益性} \times \text{資産効率性} \times \text{財務レバレッジ}$$

(売上高利益率) (総資産回転率)

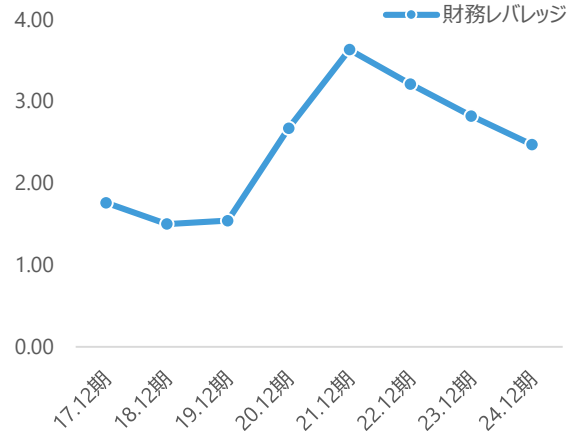
売上高利益率 (%)



総資産回転率 (回)

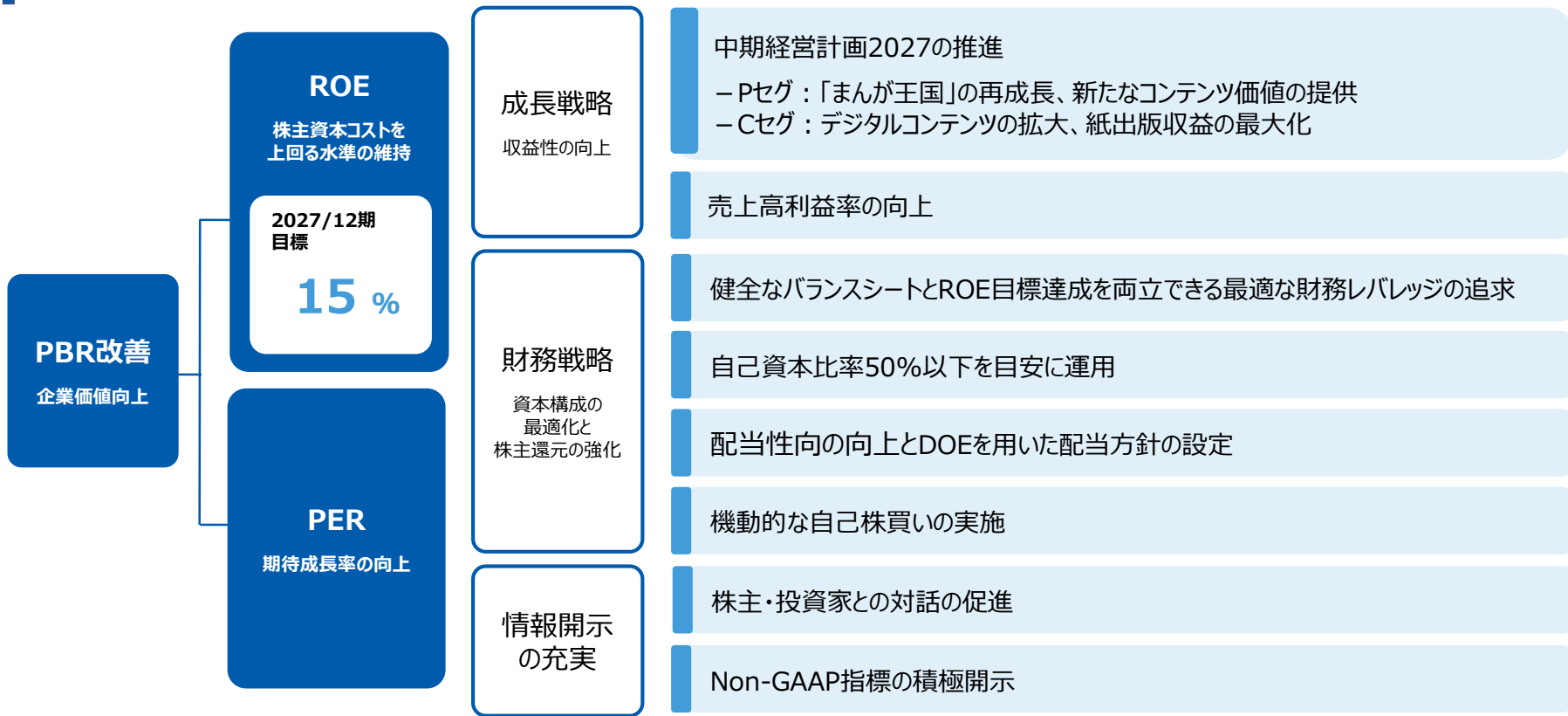


財務レバレッジ (倍)



注：2024年12月期のROEは、税務上の繰越欠損金の活用による法人税等の減少の一時的な増益要因を含む

企業価値の向上に向けた方針と取り組み



- 財務体質の健全化が進み、キャピタルアロケーション方針の見直しを実施
- 資本効率を意識し、「成長投資」と「株主還元」の積極拡大を志向

中期経営計画期間 (2025/12~2027/12)
に生み出すキャッシュの累計

営業CF | 70億円

手元資金 | 50億円 (2024/12末)
(運転資金30億円)

+ 借入余力

成長投資
50-100億

コンテンツ投資

人的資本投資

M&Aや資本提携を通じた非オーガニック成長

株主還元
20-30億

機動的な自己株買い

配当性向30%以上かつDOE3%以上

その他

借入金返済、増加運転資金

主に
借入余力
を活用

株主還元方針（配当方針の見直し）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関する議論を踏まえ、2025年12月期より配当方針を見直し

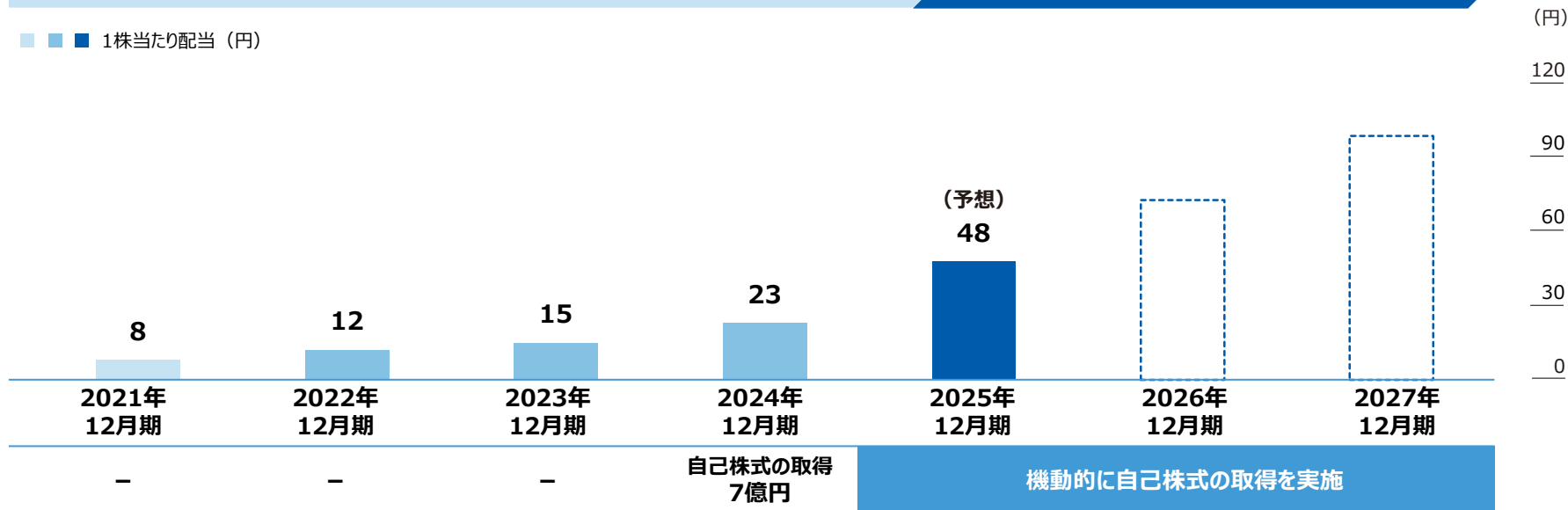
基本方針/
配当政策

- 将来の成長投資に必要となる内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な利益還元を実施
- 従来配当性向10%を30%に引き上げ、新たにDOE（連結自己資本配当率）を設定

配当性向10%

配当性向30%以上かつDOE3.0%以上

■ ■ ■ 1株当たり配当（円）



見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料内には、事業環境の説明を行う上で参考になると考える情報を掲載しておりますが、会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

クリエイターとファンを繋ぎ、新たな価値を創造する



株式会社ビーグリー (Beagle Inc.) 証券コード : 3981

Email : ir@beagle.com